

【1-1-1 地域活動協議会に対する財政的支援】

予算額：16,600 千円

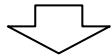
準行政的組織として機能する地域活動協議会に補助金を交付し、活力ある地域社会をめざす

業績目標

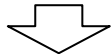
- ① 東成区全地域が地域活動協議会補助金を活用し、地域活動をマネジメント*している

26 年度取組状況（予定を含む）

それぞれの地域実情に合わせた申請（地域→区）（全 11 地域）

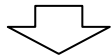


補助金の交付



平成 26 年 4 月より、各地域で事業実施

（防災訓練、夏まつり、敬老会、登下校見守り活動など）



今後各事業を実施し、年度末には精算（区役所に事業報告）

※図例



（*地域マネジメント：市民の生活の場である地域社会の安全で安心なあり方を企画・立案し、それを“まちづくり”として実践・運営する）

【1-1-2 地域活動協議会に対する新たな担い手づくり支援】

予算額：1,800 千円

地域活動の新たな担い手づくりのために、初期プロモート*のための補助金を交付（形成後連続 2 年まで）（1 地域 200 千円まで）

業績目標

- ① 既に地域活動協議会を形成している地域が本補助金を活用し、初期プロモート事業を行う

26 年度取組状況（予定を含む）

- ・平成 26 年 5 月より募集開始
- ・現在 2 地域で申請あり交付済

（ハロウィンパーティ、家族のきずなエッセイ募集）

- ・各地域では、中間支援組織を活用しながら新たな担い手拡充をめざした初期プロモート事業を検討中

（*プロモート：促進すること。奨励すること。）



【1-1-3 地域コミュニティの支援】

4 予算額：15,933 千円

東成区まちづくりセンター（中間支援組織）と連携し、地域の特性や実情に応じて地域活動協議会等に支援を行う

業績目標

- ① 中間支援組織による支援により、地域の活動や地域課題について話し合うことが活発になっていると感じている校区等地域の割合：60%以上
- ② 中間支援組織の支援により、地域活動協議会の会計処理について円滑に進んでいると感じている校区等地域の割合：60%以上

26 年度取組状況（予定を含む）

平成 26 年 4 月より東成区まちづくりセンターを大阪 NPO センターが運営開始

- ・精算にかかる相談などの会計支援
- ・他都市の取組み事例紹介や企画提案などの事業実施支援
- ・ブログ*開設などの広報に関する支援
- ・検証アンケート手法提案などの支援
- ・交流会の実施（「情報をわかりやすく伝えるコツを知ろう！」（6 月）
- ・など

各地域からは、まちづくりセンターによる支援の要望が多く、積極的に地域に出向き、それぞれの実情に応じて支援を行っている

（ブログ：インターネット上にあるサイト。サイト管理者が記事を投稿する等、私的ニュースサイト、あるいは日記。）

【1-1-4 活力ある地域社会づくりの支援】

予算額：－

より多くの区民が地域活動に関わることができるように、区広報紙や HP などに情報発信の場を提供する

業績目標

- ① 地域で住民同士の「つながり」や「きずな」について、大切であると感じる住民の割合：95%以上（区民モニター）

26 年度取組状況（予定を含む）

区広報紙に地域からのお知らせを掲載するコーナーを設け、地域活動協議会や地域の皆さまからいただいた情報を掲載している。



【1-2-1 区民による公益的活動の創出・発展支援事業】

予算額：6,324 千円

ふれ愛パンジーの場において、ラウンドテーブル*の開催(年 12 回)や、活動団体の設立や発展のための相談(週 1 回)、区民の公益活動に係る情報の収集・発信の掲示板の提供等を実施し、区民主体の公益的活動の創出や持続的発展の支援をする。

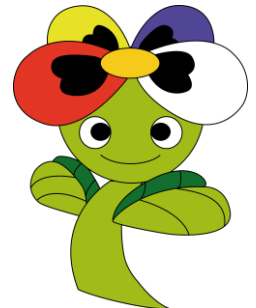
また、提案制度により公益活動として委託する提案を受け、事業化を図る。

業績目標

- ① ふれ愛パンジーを活用して公益的活動を創出または発展させた団体：10 団体
- ② 区民からの提案件数：3 件

26 年度取組状況（予定を含む）

- ・ ふれ愛パンジー活用団体：14 団体（7 月 22 日時点）
- ・ 市民活動、C B / S B *に関する相談窓口（毎月第 3 火曜日 13：00～17：00）
- ・ ゲストスピーカ*を迎えての講演会「パンジートーク」（7 月 11 日スタート、月 1 回 12 月まで）
- ・ 映像制作を通して東成の魅力について語り合うワークショップ（9 月開催全 3 回）
 - ← 完成作品は区の P R ビデオとしてパンジーで常時放送予定
- ・ 提案制度検討会の実施及び提案募集、発表会



（＊ラウンドテーブル：円卓会議。数人による小規模な会合のこと。あるいは出席者に明確な序列を定めない会議。）

（＊C B / S B : C B (コミュニティ・ビジネスの略)：地域の住民が地域課題や要求の解決のために必要なサービスなどをビジネスの手法で提供する事業。S B (ソーシャルビジネスの略)：市民が社会的課題や要求の解決のために必要なサービスなどをビジネスの手法で提供する事業。(C B / S B 共通) 営利目的でなく、地域の利益を増大させる事が目的。)

（＊ゲストスピーカ：現場の第一線で活躍している実務家や高い専門性をもった研究者など）

【1-2-2 広域・多様な区民・市民によるネットワークと東成ブランドイベントの育成事業】

予算額：1,751 千円

暗越奈良街道をテーマにした「ひがしなり街道玉手箱」の開催（企画チーム会議週 1 回、実行委員会年 3 回、参加者交流会年 2 回）を通して、市域を越えた市民や区民の交流、連携による広域・多様な市民ネットワークの形成を図るとともに、街道玉手箱を東成のブランドとなるイベントに発展させる。

業績目標

- ① 隣接市等との連携事業数：5 件
- ② イベント参加団体数：90 団体

26 年度取組状況（予定を含む）

- ・ 企画チーム委嘱（4 月）
- ・ 企画チーム全体会議の開催（4 月より 1～2 週間に 1 度）
- ・ 玉手箱に参加する企画イベント、ボランティアスタッフ等の募集（8 月～）



【1-2-3 未来わがまち推進会議を要とした区民主体のまちづくり活動への支援事業】

予算額：884 千円

東成区の将来像である「わがまちビジョン」の達成に向け、東成区未来わがまち推進会議が他の地域団体等と連携して取り組む、区民主体のまちづくり活動を支援する。

業績目標

未来わがまち推進会議の活動に参加したいと思う区民の割合(フォーラム参加者アンケート):70%以上

26 年度取組状況（予定を含む）

- ・全体会の開催：4 回
- ・勉強会の開催
- ・区広報紙特集号の発行：1 回
- ・わがまちフォーラムの開催：1 回



【1-4-1 ブログやポータルサイト*等を活用した人・情報・物等の流通の仕組みづくり】

予算額：－

人・情報・物等の資源が集まる「ふれ愛パンジー」のブログや掲示板などを活用し、区民・企業等が相互につながりを生み出せるよう情報受発信機能の強化を図り、地域活動の活性化をめざす。

業績目標

「ふれ愛パンジー」ブログや掲示板の利用団体数：20 団体

26 年度取組状況（予定を含む）

- ・掲示板利用ルールの策定（6 月）
- ・パンジーブログ開設（7 月）



（*ポータルサイト：インターネットに接続するときに、入り口となる、例えば企業などの団体が自身を紹介するために構築しているサイト）